

大和町地震防災マップ

1 地震防災マップの目的

平成20年6月14日の朝、大和町では大きな揺れ(震度4)を感じました。岩手・宮城内陸地震(M7.2)でした。平成15年7月(宮城県北部地震)、平成17年8月(宮城県沖の地震)でも大きな揺れがありました。さらに、昭和53年宮城県沖地震(M7.5)のような地震が再び起こる確率が非常に高いとされています。

大和町では、これまでに地震による顕著な被害は比較的少なかったとはいえ、繰り返し強い揺れに見舞われています。将来の地震に備え、被害ができるだけ少なくなるよう、公助・共助・自助の考えに沿って、町民がそれぞれの立場で今から準備しておくことが大事です。

この地震防災マップは、大和町で想定しうる揺れの強さとそれによる建物被害の程度を予測したものです。自宅や地域・職場などで、このマップを活用し地震被害が軽減することを期待しています。

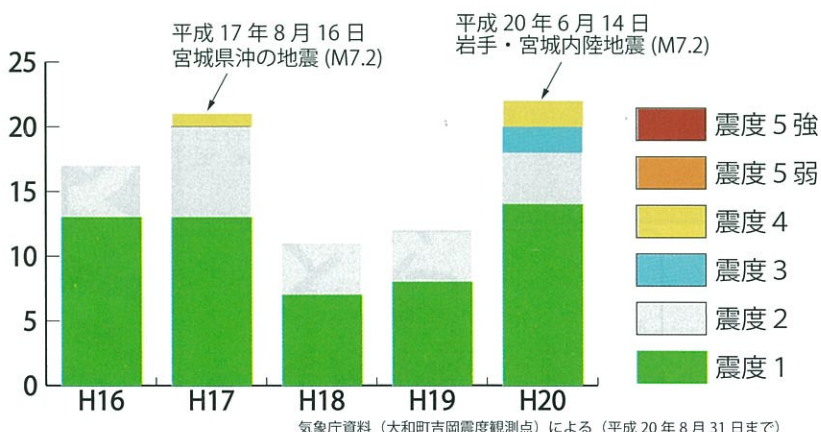
2 町の地震環境

大和町では、年間約10回から20回程度、地震を感じています。最近では平成17年8月の宮城県沖の地震や、平成20年6月の岩手・宮城内陸地震の際に、震度4程度の揺れとなったことは、記憶に新しいところです。

今後30年で99%の確率で再来すると言われている宮城県沖地震があります。昭和53年の地震の際、町内では死者などの人的被害は報告されていませんが、約2,000棟に及ぶ住家が被害を受けたのをはじめ、多くの被害がありました。

大和町(吉岡震度観測点)での有感地震回数

(器械観測開始以来、震度5以上は観測されていない)



昭和53年宮城県沖地震による町内の主な被害(大和町資料)

人的被害		なし	
建物被害	住家	半壊	6 棟
		一部損壊*	1,959 棟
	非住家	公共建物	28 棟
		その他	3,414 棟
	文教施設	16	箇所
ブロック塀・石塀など	損壊	126	箇所

*) 屋根かわらの破損・落下など



屋根瓦・土壁の崩落